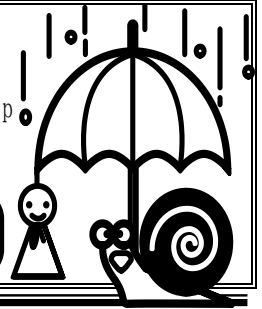


六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成 26 年 6 月 10 日(火)No.4
E-mail isobesho@itoigawa.ed.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



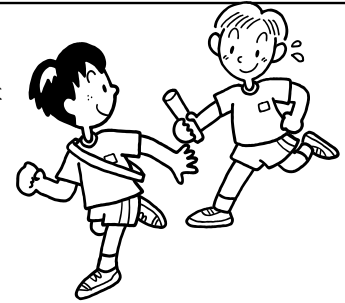
美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

心をひとつに！ 正々堂々 真剣勝負

校長 高橋 雅史

「心をひとつに！ 正々堂々 真剣勝負」このスローガンのもと、素晴らしい晴天に恵まれた5月24日(土)に磯部小学校大運動会が開催されました。

子どもたちは、それぞれの種目に持てる力を全て発揮してくれました。また、赤組山崎志桜さん、白組佐藤叶佳さんがそれぞれ団長を努め、両組とも最後まで声を限りの応援を送り続けました。



一人一人全員が、競技にも応援にも精一杯の力を発揮し続けてくれた、素晴らしい運動会になりました。これまでの保護者の皆様の励ましと支援、地域の皆様のご協力に心から感謝いたします。大変ありがとうございました。

さて、今年度の運動会のスローガンには、「真剣勝負」という言葉が入っています。私は「真剣勝負」という言葉を取り入れたスローガンがとても気に入っています。なぜなら、現実の生活の中で、子どもたちが「真剣勝負」をする場面が減ってきているように思うからです。

現代と比べれば便利なことが少なかった私が育った頃は、子どもたちの働きは、「手伝い」などではなく、まさに「仕事」でした。火焚きをしなければ家族はだれも風呂に入れませんでした。苗運びが遅れれば田植えが間に合いませんでした。「さぼった」「なまけた」ではすまない真剣勝負でした。登下校も親が荷物を運んでくれることもなく、小学生でも重いスキーを担いだり、シャベルを担いだりして登校したこともありました。中学校でも中間テストの得点が一覧にして配られました(さすがに、名前までは印刷されていませんでしたが…)。

その意味では、家での仕事も、登下校の道中も、勉強も「真剣勝負」の要素がふんだんにあったわけです。昔の全てが「よいこと」とは思いませんが、あまりにも子どもたちが「守られすぎ」、子どもたちに「手をかけすぎ」は気になります。

子どもたちの「真剣勝負」をする場面が生活の中にもっと必要なのではないのでしょうか。

あらためて、子どもたちの「真剣勝負」の大切さを感じた運動会でした。



磯部小学校の防災教育



今年度磯部小学校では、防災教育を教育活動の重要な柱の一つと考えています。本校で進めていこうとしている防災教育は、「こうしたら津波から避難できる」「地震が起きた場合、どう行動したら安全か」などの避難訓練的な内容だけではありません。

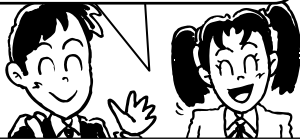
本校の防災教育の根幹にあるものは、子どもたちに「生命の大切さについて考えさせ、理解させ、それを守り抜くための実践力を育てていく」という考え方です。最近のテレビニュースに報道される凄惨な事件や青少年の自殺等の問題が起こる度に、「生命の尊厳」に対する感覚が少しずつ薄れてきているような思いになります。また、何のためらいもなく、暴力や生死をビジュアル化して子どもたちに強い刺激を与え続ける、現代のテレビアニメやゲームの画面を見ていると、その危惧はさらに大きくなります。

下の図は、今年度防災教育の時間で実施する学習内容です。また、次ページのイメージマップは防災教育を基盤として、「生命の大切さ」を学ぶ教育活動全体の関連を示したものです。自分の生命、他の人の生命、世界中の人びとの生命、動植物の生命、全ての生命の大切さと尊厳を考える防災教育を進めていきたいと思えます。

平成26年度 糸魚川市立磯部小学校 防災教育プログラム			
*()内は配当時間数 ○→ねらい ・→主な学習内容			
災害	低 学 年	中 学 年	高 学 年
地震 (1)	○地震からの身の守り方(学校内)を学ぶ ・地震の危険性 ・身の守り方	○地震からの身の守り方(学校外)を学ぶ ・地震の危険 ・家族の連絡方法	○揺れがおさまった後の身の守り方を学ぶ ・地震の後の危険 ・地震後の危険と、身の守り方
津波 (低・中2 高3)	○津波とは何かを知る。 ・津波による危険性 ・津波被害を受けやすい場所	○津波からの逃げ方を学ぶ ・津波の危険性 ・高い場所への退避	○津波への理解を深め、被害の特徴を学ぶ ・東日本大震災と津波被害 ・津波被害拡大の理由
	○津波からの逃げ方を学ぶ ・「いなむらの火」に学ぶ津波からの避難 ・自分たちが逃げる高い場所	○津波から逃げるための注意点を学ぶ ・津波表示板や津波に関する標識 ・津波の発生を知る方法	○津波からの逃げ方を考える ・過去の津波と津波の高さ ・地域の避難場所と避難方法
土砂災害 (1)	○土砂災害の存在と危険性を知る ・土砂災害とはどのようなものか ・土砂災害が危険な時と危険な場所	○土砂災害の種類と前ぶれを知る ・土砂災害の3つの種類と特色 ・土砂災害の前ぶれ	○土砂災害の発生要因と身を守る行動を知る ・土砂災害の仕組みと要因 ・身を守るための行動
洪水 (2)	○大雨が降ったときの危険性を知る ・大雨が降った時の状況 ・身を守るための行動	○雨の降り方や洪水について知る ・雨が多く降る季節と洪水が起きる理由 ・洪水のほかに起こる現象	○洪水に対する日ごろからの備えを知る ・洪水ハザードマップの意味と使い方 ・日ごろから備えておくべき事
	○大雨が降った時の身を守る行動を知る ・洪水が発生した時の危険性 ・大雨の時の避難方法	○洪水から街を守る対策について知る ・洪水から街を守るための対策 ・洪水ハザードマップと避難先	○川からの恵みと災いについて考える ・新潟県内の過去の洪水災害 ・川の恵みし自然との共存
雪 (2)	○冬の学校に潜む危険を知る ・冬の学校に潜む危険 ・校舎内の雪による危険箇所	○冬の学校に潜む危険を回避する ・校舎内・校舎周辺の危険箇所 ・学校危険箇所図の作成	○雪に対する備えと対策を学ぶ ・身のまわりの雪に対する備え ・道路の雪対策
	○冬の通学路に潜む危険を知る ・冬の通学路に潜む危険 ・通学路での身を守る対策	○冬の通学路に潜む回避を知る ・冬の通学路の危険 ・冬の通学路マップ作成	○様々な雪の災害について学ぶ ・雪の性質と災害

磯部小学校防災教育イメージマップ

磯部小学校では、生命の大切さをしっかりと心に刻む学習の土台として防災教育を進めていきます。



生命の大切さを
自分ごととしてとらえ、
自分で判断し、
日々の生活で実践し、
災害から生き抜く力を育む

- 自他の生命や安全を自分たちで守ろうとする意識と守るための技能
- 安全や健康の大切さがわかり、日常生活で実践しようとする知識・価値観、態度
- 自分を大切にするとともに他と協調・協力しようとする態度・技能

【人権教育， 同和教育】

〔児童に身に付けさせたい知識， 価値・態度， 技能〕
○互いの大切さを認め合い， 尊重し合いながらよりよい人間関係を築く力
○ルールやマナーを守り， 自分の義務と責任を果たそうとする態度
○差別等を許さない公平， 公正さとそれらに基づいた判断力

【道 徳 教 育】

〔目 標〕 ○自他の生命や人権を尊重する心情をはぐくみ， 思いやりの気持ちで互いのよさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

【平 和 教 育】

〔目 標〕 ○平和の大切さ， 尊さが分かり， 主体的に平和を守り続けようとする態度を育てる。

【食 育】

〔目 標〕 ○正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付けさせ， 自分の健康を自分で考えることが， できるようにする。

【性に関する指導】

〔目 標〕 ○生命の大切さを理解し， 「人権尊重・男女平等の精神」に基づく望ましい行動がとれるようにする。

各教科・領域で関連する学習内容

教科	主な単元・主題等*○数字は学年
社会	③「火事や事故が起きたら」 ④「くらしを守る」 ⑤「私たちのくらしと環境」 ⑥「長く続いた戦争と人びとのくらし」「新しい日本， 平和な日本へ」「世界の未来と日本の役割」
理科	③「こん虫の体」「植物を育てよう」 ④「動物の体のつくりと運動」 ⑤「植物の生長」「生命の誕生， 人の誕生」「鮭の受精と産卵」 ⑥「動物の体の働き」「人と環境」
生活	①，②「いきもの大好き」 ②「やさいのしゅうかく」
保健	③，④「育ちゆく体と私」「毎日の生活と健康」 ⑤「心の健康」
学級活動	④「全校ソーシャルスキル・トレーニング」 ②「体を守るためにできること」 ③「おめでとう赤ちゃん」「大きくなる体」 ④「大人の体って」？ ⑤～⑥「食事と私たちの体」
道徳	*「生命の尊さを感じ取り， 生命を大切にする」「自然のすばらしさや不思議さに感動し， 自然や動植物を大切にする」等に関わる主題

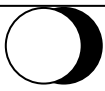
【防災教育】・主として災害から自他の生命を守るための技能的側面， 知識・理解的側面を重視する

〔目 標〕 ○災害から生命を守るために必要な能力や資質の向上を図る。
○人間としての在り方や生き方を考え， 生命を尊重する心を育成するとともに， 他者に対する思いやりや助け合いの心を養う。

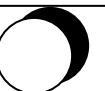
〔主な指導場面・学習場面〕

- ・避難訓練(地震・津波想定；6月， 児童の引き渡し想定；9月， 火事想定；1月の3回+α)
- ・防災教室(各学年9時間) ・放射線学習会(年間2回) ・地震体験車体験
- ・「いそべ防災の日」(防災に関わる講演会， 炊き出し体験， 防災教育に関する参観授業)

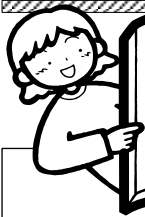




5月の磯部小学校



晴天に恵まれ、平成二十六年大運動会が開催されました。一人一人が精一杯、競技・演技・応援に力を出し切りました。



今回は、6年生が書いた運動会の作文です。

作文紹介

「運動会」

六年 満城 瑠衣

五月二十四日は運動会でした。そして、うれしかったことが二つありました。

一つ目は、徒競走です。私は足が遅いけれど、がんばって走ったら一等賞だったのでうれしかったです。

二つめは、キッズ・ソーランです。練習の時より、私もみんなも、二倍くらいの声が出たので、うれしかったし、よかったです。

でも、逆にくやしかったことでもあります。それは、優勝と応えん賞がとれなかったことです。それで、くやしくて泣きました。でも、母が

「結果よりも自分がかんばったかどうかの方が大事なんだよ。」

と、言ってくれて、はげましてももらいました。

私たち六年生は、今年で最後だったけれど、くいの残らない、とてもよい運動会になったのでよかったです。

「運動会の振り返り」

六年 内山 穂乃

私は、今年副団長をやりました。そして、がんばったことが三つあります。

一つ目は、金管です。特に、新曲の「ノー・モア・クライ」をがんばりました。でも、まちがえてしまったところがあつたので、次までにちゃんとふけるようにしておきたいです。

二つ目は、応えん合戦です。のどがつぶれるくらい、大きな声を出しました。大変だったけど、赤組のみんなも大きな声を出していたのでよかったです。

三つ目は、イルカリレーです。私は、アンカーでした。負けていたので、追い抜いてやるうという気持ちで走りました。でも、四位だったので、とてもくやしかったです。

全部の競技で全力をつくし、優勝と応えん賞もとれたのでよかったです。

最後の運動会がとても思い出に残るものになりました。

